

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 日立製作所日立体育館

【女子の部】 第1日目 Bコート 第5試合

チームA 純心女子 長崎	68	{ 13 1Q 26 12 2Q 19 22 3Q 15 21 4Q 19 OT	79	チームB 市立前橋 群馬
---------------------------	----	---	----	---------------------------

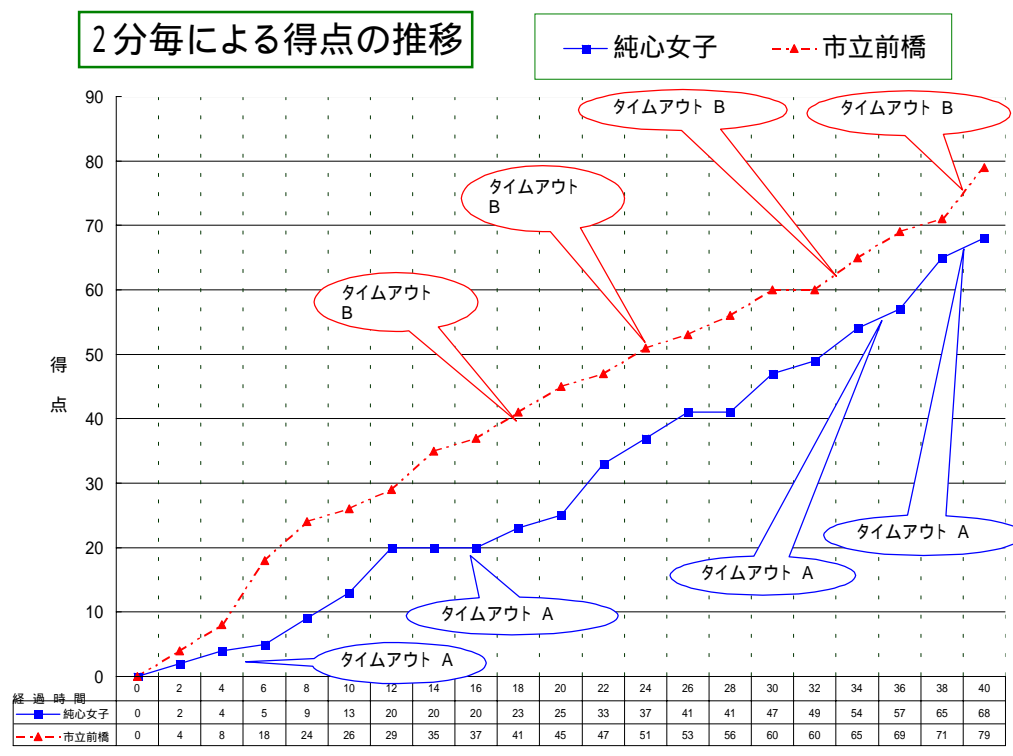
純心女子

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山下 麻矢	4	0	5	2	3	0	0	4	2	0	1	2	5	0	29
5	木村 香織	2	0	0	1	4	0	0	0	2	1	2	0	0	0	14
6	川嶋 奈々	9	3	10	0	1	0	0	2	0	1	2	1	1	0	33
7	宮本 千夏	3	1	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9
8	関田万木子	2	0	6	1	3	0	0	3	1	0	2	1	3	0	25
9	山崎 陽子	9	0	0	4	4	1	1	2	1	4	1	2	1	3	26
10	前田菜美子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
11	峯岸紗季子															DNP
12	山村真祐美	9	3	7	0	0	0	0	1	0	1	4	0	1	0	17
13	飯田亜希子	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5
14	前田愛矢佳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
15	出岐 奏	30	2	9	11	15	2	3	0	1	1	1	3	3	1	40
コーチ	後藤 勉								0							
		68	9	40	19	33	3	4	12	8	9	17	9	15	4	200
確率			22.5%		57.6%		75.0%									
																計 17

市立前橋

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	飯塚めぐみ	19	2	5	6	13	1	2	3	0	4	4	2	3	0	40
5	本多 香織	11	0	1	3	10	5	9	1	0	3	3	0	1	0	19
6	黒岩 礼子	22	0	0	9	16	4	5	3	9	6	3	0	1	0	40
7	鈴木 舞衣	9	1	5	3	7	0	2	1	0	1	4	1	5	0	29
8	眞貝 苑子	12	2	4	3	3	0	0	3	1	2	4	4	3	1	40
9	岡本 桂子	4	0	0	1	4	2	2	1	0	1	2	0	1	0	21
10	深澤菜緒美															DNP
11	小池 梨絵	2	0	2	1	4	0	0	0	2	4	2	1	0	0	11
12	吉田季美花															DNP
13	笹澤 友樹															DNP
14	横田 恵子															DNP
15	清水 敦子															DNP
コーチ	清野 修								0							
		79	5	17	26	57	12	20	12	12	21	22	8	14	1	200
確率			29.4%		45.6%		60.0%									
																計 33

2分毎による得点の推移



戦評

第1P純心は、ハーフコートマンツーマン、前橋はハーフコートの2-1-2ゾーンでスタート。純心が前橋のゾーンを攻めあぐねるのに対し、前橋はスクリーンを絡めての2対2を中心に攻撃を組み立て、内外をバランス良く攻め、着実に加点していく。純心も#15出岐の1対1を中心に攻めるが、ミスが目立つ。第1P、第2Pを通して45-25の前橋20点リードで折り返す。

第3Pに入り、純心はトスアップから#15出岐のレイアップシュートを皮切りに猛攻を開始。純心も#6川嶋の3Pなどで一気に12点差に詰めたとこで、前橋が早めのタイムアウトを取る。これを機に前橋が息を吹き返し、#5本多、#6黒岩の粘り強いインサイドプレイで再び突き放しにかかる。しかし純心も#12山村の3P、#15出岐のプザービーター3Pで食い下がり、前橋の13点リードで勝負の第4Pへ。

第4P開始早々に純心がオールコートマンツーマンで前橋のミスを誘い、#15出岐、#4山下のスティールから一気に加点し、6点差まで詰め寄ったところで、残り7分29秒で前橋がタイムアウトを取る。前橋はすぐに#8眞貝のロング3Pでリズムを取り戻す。純心も残り5分34秒に13点差でタイムアウトを取り、#15出岐、#12吉田の3Pで再び詰め寄る。残り2分で再び6点差まで純心が詰め寄るものの、ここから前橋がオフェンスリバウンドで粘り強く加点し、最後まで執念を見せる純心を振り切った。タイムアウトの重要性と両チームのディフェンスの粘りが印象に残る試合であった。

主審 清水 幹治

副審 古谷 純

記入者 和田 創一